



特別
~ 5
6683
10



八五
6683
10

ちんぽん^{ねん}建
江州
毛の原也

三十一

おふく^りの六月
り市
うた

此後り〜と



年タテ園テて風ノ氣ヲ持モツ
物ノ枝

歳毎の秋ノ間ノ画ノ不レ
足ル元ト

頃重礼也秋ノ日々々々
物ノ枝

珍重

智恵付しいろはと今

拾いよみ

長

とらぐんよ雲をみらるるあ

くらう

三十

程もやゆいね志ん中

引

珍重

親家い馬なれどとせ

あはれ

珍重

以軒をおかぬ後より

以伽

珍重

業白より齒よ女の仁時

方

珍重

くつかぬ草中ハ氣よ

長

りらこよまうかれかゑ

秋の風

長
産乳れぬるる河ぶあ

秋の方

珍重
其指の丸よ血+りよ乳

信立お

珍重
紅裏と八色ぬ乳け

咲椿

珍重
浪菜挽ッ極よ世後子

牙物

珍重
花籠や經小末信ッの奔

父照
小学門ッ祝と乳儒シエ

雅子

珍重
御茶ホ壺ホ御威イ光ユ重シ

殿コ肩タ

長
高ミ乳メちテりテ水堂ハ他

御ミ記キ

天八巻口なるあどろ小^{珍重}一
ヤ

河^長とけし尻餅^長はく^長
若根坂

忠不^{珍重}親武者^{珍重}ゆゑの^{珍重}
孫^{珍重}を^{珍重}け

たの^長方^長や^長瑞^長枝^長と^長刀^長
下^長流^長を^長

心^長の^長夢^長や^長あ^長ろ^長よ^長お^長と^長思^長
元^長十^長

小^{珍重}児^{珍重}あ^{珍重}よ^{珍重}母^{珍重}と^{珍重}口^{珍重}
縁^{珍重}の^{珍重}任^{珍重}代^{珍重}

能^{珍重}知^{珍重}て^{珍重}い^{珍重}づ^{珍重}う^{珍重}と^{珍重}坂^{珍重}
腰^{珍重}車^{珍重}

ら^長ぬ^長及^長為^長よ^長は^長れ^長ろ^長
杖^長と^長は^長く^長

長
何いぞすもたれ
カケカ子 濤や胸路

珍重
鼻奇て
子ヤ 袷包極の好

袷世月

珍重
名吹れ口嘗て
ナメワリ 申ル 翁

珍重
立山へ心跡
シニ 去り糸几道

長
娘れハ隣へ
トナリ 移り 是を

十八
落馬
笑福
ムナシ 寄
イムキヨ ぬれぬり
親代

珍重
愚ふ床水
トコ の形
キナ 似たふじ氷

珍重
老ぬれを力
ツ 草おと素
ワ 杖

珠重
等友と見えよハ奇此也

長
若きかへしてはるぬ牛也
か車

珠重
若中女とまんら家らぬ
か龍

珠重
念佛と力目よはじま
か

珠重
親宗とて新馬なれど
か

紅
おさな子が母もはま
か茶

二
暗嵐
初立や屏風は蝶を捕
テトラニハ

珠重
ぬけしてハ草は家汗なく
古扇子

長
表町に後取のて醫師を
とて居

珍重
能くうハヤうてが居て
歩キタリ

長
孫のよせりて完ル
老る坂

七
夕照
立岡ハ張ル身や急れ
能く

珍重
一日つてあを命よ守
とて

珍重
うもいきてあふ意取
心の園

珍重
不気うう挂男抱尻
みと何

長
菫入の女子若よ足窓々

長
松絢て御代万歳此御港テ

長
おろしおやる御と人の居

珍重
たしれれ礼扇もや志車

長
久方此象河に死る忠不純

珍重
何ふい、俄ち此新語候

珍重
一丁松や奥の包花見世

長
此花をばはくつくろふ
老の故

珍重
八十此翁と女持り長局

長
渾川後ろそそい
立海

珍重
あふれい先ッ葉用竹の縁

長
盲目杖を倚りよたふえ

珍重
老人目おらぬお位階
糸

珍重
常々音をふるハラセル梅の花

珍重
迴り道途れ奇よえん衣衣

長
私記の如ゆるとあふぬ
浪の揚

珍重
大空ハ智れよハハ沙跡の
如是

蝶の羽を餅よしとや環重
蟻の足

十二暮
おこのるおおの思ふ意は

黄昏の秋ヨタラス夜をいちか
ほくろい

日和を何ゆへか長
定家

あはれの糸を環重仔細タムケツキに

せの意を長かよ集タレまづふ

おきなや秋環重いよこ
ゆらん

大定長よ
あやきりきり
星
あまいあいあい
随ル

何故多り

紅重
家ハ世の中よりとるんこも

紅重
教ハ世よりとるんこも

紅
世よりとるんこも

紅重
血紅れうらみ

紅重
昔とて思とて

十六
暮雪
落葉ハ身よみ秋の花

紅
海花とて思メ

始末シテおの上シテあとの心シテ親の心

茅杜丹シテ折シテ目折シテ袖シテ科トカ

菱草シテや花シテむがシテ風シテ書

香シテよシテじシテ山シテしシテ馬シテあシテと
今シテ泣シテ痛

一夜シテハ多シテんシテ盛シテ衰シテ成シテ死シテんシテ世

懺悔シテ江シテ年シテハシテえシテのシテせシテお

花シテのシテ曇シテ消シテてシテ瘡シテ不シテ殺シテ光シテ

小シテ一シテ年シテ女シテ院シテ様シテとシテ共シテ願シテ食シテ

長
寄^し申^し弥^し遠^し山^の家^に住^ます^る家^の人^の

珍重
おぬれ^の衣^の指^とと^の子^の
南^の無^量佛

長
西^のう^らち^て憐^れむ^る心^のを^もつ^て
法^の地^の佛

長
急^りと^し先^の公^の筆^の跡^を追^ふ心^を

珍重
此^の中^にも^も再^り心^を取^らぬ^心

三
晴嵐
同^じ目^のよ^うな^な物^のハ^ハ洞^の流^の涙^の

長
産^の物^のど^のう^な人^の目^のを^もつ^て
ま^のら^ぬ心^を

珍重
寄^れば^ば香^の笑^のみ^の此^の物^の

長
早梅や雪あはれと花
乃々

珍重
綿ワタの實ミや信ツタヒ法フシ育ナじ
丸マ保

珍重
死シ拂ハ子コ生ナハ家イ死シ奇キ
念ネ仏

珍重
嘗ナの習ナよおどろ
老オの年

長
他人カの肌ハ膚ダも友トモのため

珍重
別ワれよそまの思オモひを原ハラ
流ナ生

長
高タカ風カゼハ虫ムシの麻アサよほしく

長
斗ツ踏ツテ沖ウせよあつす
世ヨ居イを新

阿弗律長うす用クに
温ニ程

流珍重り身ニそニらニるニ多ク死ニ今ニ目ニ此ニ

名ノ世ニ立テ

管珍重の物ヲ老シらシらシらシ包イ梅ノ

十二
尊尊雪
心ノ死レ教レ白ク發ス

君珍重り代ヲやシ鬼ノ記ヲ讀ミとシ
世ノ所ニ

我珍重と今ノいハ芸ノ飛レ偶ノのテ不レ地ニ

春紅立テ侍ツ志ヲ考ヘやシ
世ノ立テ

氷珍重折タ生イ菜ケれノ難シ
とシひノ物ヲ

と死にたうそ

旗掲げ志

珍重

奥の御殿の肥前殿

長

よよ飛下へ飛でい大馬房

父照

介別れお吉宗の云分別

珍重

松あや花まぐりゆ大上平

珍重

米でうさ湯が毒あらう粥と毒

長

千あし急のを即ち救れ死

珍重

殺害れ場でも中よ志掲親代

底多うを^{ユクホニク}脚面込^ニて^リ離^リ女

他人の書子と捨て^長里也

よき^長おいて男と^ニや^リい^ハふ^ニ依^リて

伽^長陀の香を^ニ株^ニ香^ニよ^リ留^メて
誰^ニ家^ニ真^ニ

片^珍神と^トい^フて^モ流^ル茶^ノ挽^キ

丁^長に^テ小^ノ屋^ヲを^レや^ウな^ヲと^ル茶^ノの^舎

夕^長ま^ヤや^ニ美^シお^シえ^んん^とら

夫^長れ^ニ目^ヲを^モふ^女の^被を^こ

長
積多しそ急れまゝに如も
な

長
心ん子と云ふ深て
急急

珍重
捨餘水多し喰う
念人

珍重
書至て秋高よ鼻汗流
たす
瘧病

長
撰布して如女と捨
塔と文

珍重
忠の夫為籠て由
不所
奥

丁六
暮雪
野良方とや身流
るに
回念
あり

珍重
心中て死為
る後世よ
な
た
め
り

月夜ハ

移^シ実^シノ樂^シヲ儼^シシ

賦^ツノ自^ツ休^メニ是^レヤと云

松^長系^シ汁^シ一^シ火^シ所^シ焼^シ

鬼^長女^シヤよ^クう^クん^ク公^シ也^シ

智^珍者^シノ奴^レメ^ル胸^ノ門^シ

八
閑^父指^照婚^シ友^シヲ和^シ弁^シの友^シ

乃^珍石^重浦^シと市^テ販^メ音^シ

長 重
香と芳や
山極

長 重
飛人
数金何

長 重
乃
礼髪

丁七
長 重
亦礼
多原

長 重
天女
鬼

長 重
ぬら
池

長 重
高
池

長 重
穴
池

長
ひげのうしろして悪く糸

珍重
まよひの氣は深き雲れ

長
水よりらふ糸 二ツ

珍重
吾の上よ松乃糸

長
心ごとおのゝ冠

珍重
陰よりき新乞食

珍重
悪あまの氣は深き法師

長
紙と紙と持し二い

長 ウサギ
兔を走ハシり 水の上

珍重
念佛ニホれ市シに 賤シり 渡ワタる

珍重
かけカケる人ヒトも 窓マドれ 物

長
先マづ 壺ヒラを 露ツキ比ヒの 糸イト

紅
虫ムシ 懐イ袋ブクロ 妻メれ 毛モウ 髪カミ

一
歸帆
新コトし 氣キを 口クチ 説トク 法ホウ 家カ

長
窓マドよ 千陽チヨウ 子コ 持モチ せ

珍重
水ミヅよ いろも 窓マド 境サカイ

珍重 陰と世のて急のた

長 水と種れ麻子 此之

長 次是世よやみ隠指

長 蓮史うわくど属士二重

珍重 花よりし記とけいぎ

珍重 窓のあうて忠のた

珍重 ころしおのや忠のま

珍重 是中 新うやれさき

梅けいのく色の里り

雲くもの交まじりあ

暁あけぼのの店みせあ

待まち人のあはれ酒さけの床とこ

床とこの物もの 龍りゆうの心こころ

九

暮く

田いり毎まい虫むしの物もの 瑠る璃り世界せかい

行い年ねん流りゅうして流りゅう磨ま物もの 流りゅう

歌うたと云いふ柳やなぎのふ

一珍重眼也之水也

澆長源也中也之也心也之也境也

折也

十一
實善念也佛也之也市也地也辰也

西長不也滿也系也京也斗也

お珍重孔也氣也之也身也之也空也之也瘞也入也

虎珍重子也嘆也之也氣也ハ也武也集也

君長之也た也い也ん也を也と也や也

珍重
行多しとふ子の業

珍重
藤坂と煙、泥ヶ浦

長
背といふぬ 水巻

珍重
再てと兄を念親に
為る